

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 29 (当初計画: No. 31)

東北森林管理局

取組名	間伐の低コスト化に向けた現地検討会 (継続)
流域名	北上川中流流域
重点事項番号	②-21
実施箇所及び実施日	岩手県胆沢郡金ヶ崎町駒ヶ岳国有林165林班ほか 平成24年8月24日
取組の背景及び必要性	間伐の低コスト化に向けては間伐箇所の集約化を行い、高性能林業機械の性能を最大に発揮させることを中心とした労働生産性の向上が不可欠であり、合理的に配置された路網と、素材生産の工程全体を通じて生産性が高まるような人員や林業機械の配置による低コスト作業システムを構築することが重要であることから現地検討会を開催。
取組の内容	地方公共団体、管内外林業事業体等と効率的な路網配置や工程間の生産性を可能な限り一致させる作業システムについて検討するため、局担当官による説明と当署における取組、管内林業事業体の現状及び問題点等を紹介し、意見交換を行った。その後、生産請負箇所において「森林作業道作設指針」に基づいた森林作業道の配置、高性能林業機械による作業システムについて現地検討を行った。
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署、販売課 (企画、実行、講師、フィールドの提供)
連携協働相手先・役割	岩手県、遠野支署 (協力、情報提供)
取組の結果、反響、今後の課題等	低コスト作業システムの重要性及び森林作業道作設指針の有効性、流域の林業事業体の問題点の共有等ができたが、流通・販売等を考慮した採算性や機械導入、人材育成等先行投資に対する中期的事業量の確保等の課題が示され、今後の検討が必要。 参加人数: 岩手県南広域振興局、奥州市、管内及び遠野支署管内林業事業体、東北森林管理局、遠野支署 計30名
PRの実施状況及びその期待する効果	署及び局HPへ掲載

【参考資料】

取組名	間伐の低コスト化に向けた現地検討会（継続）
-----	-----------------------



販売課担当官による説明



管内林業事業者の現状説明



森林作業道の検討



高性能林業機械による作業システム



現地での意見交換

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 30 (当初計画: No. 32)

東北森林管理局

取組名	ボランティア等民間団体が行う森林整備等への支援（新規）
流域名	北上川中流流域
重点事項番号	⑥-62
実施箇所及び実施日	岩手県和賀郡西和賀町長橋国有林1113イ林小班 平成24年10月21日
取組の背景及び必要性	地域の牧野組合が管理していた国有林野内牧草地において、国へ返還するにあたり、多くの人に参加を呼びかけ近隣の森林から種を採取しポットで育てたミズナラ等を植樹した。
取組の内容	<p>周辺を遊々の森の協定箇所に囲まれた未利用牧草地において、遊々の森協定締結者がこれまで多くの賛同する団体及び一般参加者により牧草地に近い森林から種を採取し、ポットで育てたミズナラ、トチノキ、オニグルミ等を植樹してきた。今年度は、「TOYOTA AQUA FES!!2012」「岩手西部郵便局長会」の参加を得て、かつての豊かな森に蘇らせるための活動を行い、署として技術指導及び作業協力等を行った。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 平成21年の協定締結から同様の取組を継続している。</p>
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署 (道具等の貸与、フィールドの提供、作業協力)
連携協働相手先・役割	貝沢牧野組合、カタクリの会、西和賀町 (企画、立案、募集、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>今年度は一般参加者特に若年層や森林等に関わってこなかった参加者が多かったため、これまでの活動や今後の取組に広く理解が得られた。今年度、未利用牧草地も協定箇所に追加したことからの活動をより一層充実かつ推進していく。</p> <p>一般の参加者が多いことから、活動地までの人員輸送、安全確保等のための条件整備が必要。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	署HP等へ掲載 連携協働相手方の広報

【 参 考 資 料 】

取 組 名	ボランティア等民間団体が行う森林整備等への支援（新規）
-------	-----------------------------



## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 31 (当初計画: No. 33)

東北森林管理局

取組名	市町村森林整備計画策定の支援（新規）
流域名	北上川中流流域
重点事項番号	②-24
実施箇所及び実施日	北上川中流流域内の市町村
取組の背景及び必要性	森林・林業の再生を図るため、「森林・林業再生プランが」策定されている。その実現に向け実効性の高い森林整備計画を策定する必要があることから、国有林の知見を発揮し支援することが必要。
取組の内容	流域内の各市町村の森林整備計画の次期計画期間が25年4月1日～35年3月31日までとなっていることから、市町村森林整備計画の樹立に向け、国有林との連絡調整、アドバイス、情報提供等を行った。 平成24年11月16日開催の「市町村森林整備計画策定に係る打合せ会議（北上川中流森林計画区）」に参加。
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署 （連絡調整、アドバイス、情報提供）
連携協働相手先・役割	岩手県南広域振興局、 （連絡調整、アドバイス、情報提供） 一関市、奥州市、北上市、平泉町、金ヶ崎町、西和賀町、花巻市、遠野市 （市町村整備計画の策定）
取組の結果、反響、今後の課題等	各種会議等において国有林の取組について紹介し、計画策定の参考にしてもらうと共に、マスタープランとしての市町村森林整備計画の重要性の認識を図った。
PRの実施状況及びその期待する効果	実効性の高い市町村整備計画の策定